

長尾福祉会報

令和7年10月1日

第52号



長尾學舎
芸術士活動

—長尾福祉会理念—

障害をもっているも っていないくても 男も女も

「生まれておめでとう・成長しておめでとう・長生きしておめでとう」といえる
社会づくりをめざします。

～ ご挨拶 ～

社会福祉法人長尾福祉会 理事長 森田 浩之

皆さまにおかれましては、日頃より社会福祉法人長尾福祉会の活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、このたび当法人は創立 30 周年を迎え、記念行事も無事執り行うことができました。多くの皆さまにご参加いただき、温かい祝福の言葉や励ましのお声を頂戴しましたことに、心より感謝申し上げます。この 30 年の歩みは、地域の皆さま、ご利用者・ご家族の皆さま、そして関係者の皆さまのご支援の賜物であり、私たち職員一同にとって大きな励みとなっております。記念行事を終え、あらためて「地域とともに歩む福祉の実現」という原点に立ち返り、これからの 10 年、20 年先も見据えて、より一層の努力を重ねてまいります。

本号では、記念行事の様子もご紹介しております。ぜひご一読いただければ幸いです。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人は、「社会、地域における福祉の充実・発展」に寄与することを使命とし、社会福祉事業の安定的・継続的経営に務めるとともに、多様な生活課題や福祉需要に柔軟かつ主体的に取り組む公共的・公益的かつ信頼性の高い法人です。

社会福祉法人 長尾福祉会



創立30周年記念式典

開催日 5月11日
(高松国際ホテル於)

来賓祝辞



長年に渡り、あたたかなご支援
ありがとうございます



功労者表彰・感謝状・永年勤続者表彰



理事長挨拶

初代理事長村尾トヨ子をはじめ、理事の皆様方の地域の福祉を向上させたい志で長尾福祉会は産声をあげました。

高齢者から児童と、すべての福祉サービスのプラットフォーム化を目指し、30年経ちました。これからは多様化する福祉ニーズと制度の狭間で支援を求めている方に、広く手を差し伸べられる法人を目指したいと思います。

<沿革>

平成 7年	6月30日	法人設立
平成 8年	9月 1日	知的障害者更生施設 (現 障害者支援施設) のぞみ園開園
平成12年	3月 1日	特別養護老人ホームゆたか荘開所
平成12年	10月 1日	ゆたか荘居宅介護支援事業開設
平成15年	4月 1日	生活支援センターのぞみ開所
平成15年	10月 1日	グループホームのぞみ開設
平成17年	4月 1日	のぞみ児童デイサービス事業所開設
平成18年	2月15日	デイサービスセンターゆたか開所
平成24年	11月 1日	高齢者複合施設ハーティヴィラ亀鶴開所
平成30年	4月 1日	高松くりの木保育園 (現 認定こども園) 開園
平成31年	4月 1日	認定こども園長尾学舎開園
令和 4年	4月 1日	療育センターのぞみ開所
令和 7年	4月 1日	のぞみ児童デイサービス長尾東開所

祝賀会



新人紹介



香川県庁邦楽研究会の皆様



さぬき舞人様の迫力ある演舞で会場が盛り上がりました!!

のぞみ園

女子寮

スポーツレクリエーション大会

生活支援員 内原 宏子

6月上旬、恒例のスポーツレクリエーション大会がツインバルなおにて開催されました。今回は、玉入れ、パン食い競争に加えて、利用者さん、職員、保護者の皆様が救急隊員に扮してぬいぐるみを運ぶ「救急隊員ぬいぐるみを救え」や、笛を吹きながら踊り子が登場し、阿波踊りをみんなで輪になって踊ったりと笑顔あふれる楽しいスポーツ大会となりました。



男子寮

楽しい調理の時間

生活支援員 間島 義博

6月上旬、暑い日も続く中、男子寮では調理実習でクリームソーダーを作りました。自分で好きなシロップを選び、アイスを乗せてとてもうれしそうにしていました。同時にお菓子くじも実施し、当たったお菓子を笑顔で満足そうに食べていました。

利用者の皆様から「またやりたい」「楽しかった」ととても好評で、今後また皆さんの楽しいイベントを開催していきたいと思います。



南寮

アイスパーティー

生活支援員 谷本 久美子

6月下旬、梅雨も終わりに近い暑い日に、南寮で「アイスパーティー」を開催しました。バナナ、チョコ、ストロベリーと3種類のアイスを並べ、敷き詰めたグラノーラの上に好きなアイスを2種類選び、自分たちで盛り付けをしてもらいました。

皆さんの一押しはチョコのようで、盛り盛りにしたアイスを口いっぱい召し上がっていました。



のぞみ児童デイサービス

長尾東

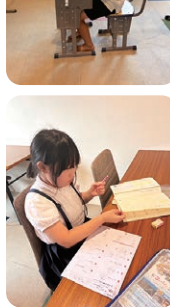
ひとり一人の個性を大切に

児童指導員 吉鷹 清昌

4月に開所したのぞみ児童デイサービス長尾東では「やってみよう! やればできる!」を合言葉に、毎日子どもたちの元気な声であふれています。

登所してくるとまず宿題。しっかり学習をした後、おやつを食べてから自由時間、というようにメリハリをつけたスケジュールで活動しています。

一人ひとりの個性を大切に「優れるな 異なれ」という気持ちで日々支援に取り組んでいます。



特別養護老人ホーム

ゆたか荘



納涼夏祭り

介護主任 高木 優子

〜年に一度のビッグイベント!!〜



7月26日に納涼夏祭りを開催し、多くのご家族が参加されました。『威風連』様による阿波踊りや、ご家族参加の抽選会など大変好評で、盛り上がるなか幕を閉じました。ご利用者、ご家族が共に季節の行事を楽しみ、笑顔溢れる時間を過ごしていただけたと思います。

今後ともご家族とのつながりを大切に、あたたかで心に残る行事を企画していきたいと思っています。



喫茶

主任管理栄養士 河井 以知理

〜喫茶を通してホッとひと息〜

月に3回開催している喫茶は多くのご利用者が心待ちにしています。

隣の席の方と「どれにする?」と会話したり、「おすめはどれかな?」と注文の際、職員に尋ねたりと各々が喫茶を楽しまれています。



長尾学舎との交流

介護副主任 頼富 涼代

〜園児の笑顔ににっこり〜



6月25日長尾学舎5歳児の園児が来荘され、歌やダンス・合奏など披露してくれました。緊張した面持ちで、一生懸命な園児に声援や大きな拍手をするご利用者、また感極まり涙を流すご利用者もおられました。ふれあい遊びでは恥ずかしそうにしていた園児もだんだん緊張がほぐれ、共に笑顔でふれあうことができ、穏やかな時間を過ごされました。



手作りおやつ

介護副主任 寒川 美樹

〜懐かしいかき氷〜

7月30日、ゆたか荘では手作りおやつとして『かき氷』を作りました。練乳やあんこ、お好みのシロップを選び、涼を感じながら笑顔で召し上がっていました。シロップを選んでる姿はいつかの少年、少女(笑) 氷のように目をキラキラと輝かせている姿を見て、職員共々楽しい時間を過ごすことができました。



敬老会

介護副主任 山下 達也

〜皆様ご長寿おめでとございます!〜

9月10日に敬老会を開催しました。毎年長寿番付表を飾りご利用者の方から「私こんな歳になるんな」と驚きの声が上がっていました。職員も番付表でご利用者の年齢を見て、驚かれていました。今年ゆたか荘では3名の方が100歳を超えられ、卒寿や白寿等、お祝いの節目を迎えられた方がショート利用者を含め11名おられました。

おやつには普段とは違いケーキやプリンを用意し、ケーキが出て来た時は、「凄いな」「美味しそう」と歓声が上がり、いつもとは違う雰囲気を変えていました。

今年の敬老会も職員とご利用者で盛大にお祝いし、笑顔と拍手にあふれた心温まるひとりが過ぎました。



デイサービスセンターゆたか



日々の生活に彩りを…

介護職員 岡田 晴貴

デイサービスでは年に数回、園外活動という行事で外出の機会を設けております。

高齢になって、免許を返納されたご利用者が多くいらっしゃいます。「車に乗らんからどこにも行けない」、「買いたい物は家の者に頼んでいる」という声をよく聞きます。園外活動の主たる目的として歩行訓練による身体機能の維持・向上を掲げておりますがそれだけでありません。外に出て季節の移り変わりを肌で感じることで、気分転換になり意欲向上やストレス解消に繋がります。また買い物ドライブでは、必要な物を買うだけでなく、社会との繋がりを維持する機会になります。

これからも安全に配慮しながらご利用者の笑顔を増やしていきたいと考えています。

ハーティヴィラ亀鶴 デイサービスセンター



ハーティヴィラ 亀鶴

暑さに負けず

笑顔で元気に
楽しく過ごしましょう！

寒さにも
負けず



七夕飾りは
皆さん思いの
願いを込めて…



職員と一緒に
フレンチトーストを
作りました



美味しい♪

センター長 寺島 理香

ハーティヴィラ亀鶴デイサービスセンターでは、様々なレクリエーションをご用意しています。

ご利用者の皆さんは、身体や頭を使ったり、季節の移ろいを感じたりしながら楽しく取り組まれています。

今後も皆さんが元気で笑顔で過ごされるような、ユニークで楽しい企画、レクリエーションを考えていきます。

どうぞよろしくお願いいたします。



紅白に分かれて競争です



ことばさがし
頭をやわらかくしましょう



素敵な色づかいで
作品が仕上がっていきます



キッチンペーパーを染めて
バラの花を作りました



認定こども園 高松くりの木學舎

學舎

「クラス交流会〜離乳食の試食会〜」

ひよこ組（0歳児） 藤岡 由香利

5月24日にクラス交流会を行いました。入園から約二か月が経ち園生活に慣れた子どもたちと、入園式以来集まる少し緊張した様子の保護者の方々。最初に保護者の方々に自分の名前と趣味や特技をお話いただきました。「モーニング娘。」を歌う事が好きです！「夫婦でカフェ巡りが趣味です」「時々マラソン大会に出ています」など意外な一面を披露していただき、場の雰囲気がとても和やかになりました。

その後少人数に分かれて、育児の悩み相談や意見交換を行いました。その中でどのグループからも話題に上がったのが離乳食についてです。今年度はベトナム出身のご家庭が二組いることで、文化や言語の違いだけでなく離乳食に関しても私たちが保育者は考える事が多くありました。

そこで今回は栄養士から離乳食の進め方やポイントなどをお話いただき、実際に出汗とにじんとしゃがいを保護者に試食してもらいました。「これくらいの大きさや軟らかさが良いですね」「汁の濃さは家もこれくらいです」「月齢でなく子どもに合わせて形状に変えてみます」などご保護者の方からたくさん声が上がり、保護者の方も実際に試食をすることで離乳食について明瞭になった部分があったようです。

このクラス交流会や離乳食の試食会を通し、一人ひとりの家庭での様子や離乳食の進度がよく分かり、保育者もその後の園での食への進め方を考えたり、家庭との離乳食についての共有を密にしていけるようになったりと、家庭と保育者と栄養士との関わりがより一層深いものになりました。これから目の前の子ども一人ひとりの様子を大切に、保護者や栄養士と連携をはかりながら離乳食を進めていき、子ども達が健康に過ごせるように見守っていきたいと思います。



「クラス交流会〜宮西公園で遊んだよ〜」

うみ組（4歳児） 島田 羽都希

5月31日（土）、宮西公園にてクラス交流会が行われました。公園に出掛ける前に、進級してから毎日続けているラジオ体操を披露しました。保護者の方たちも、子どもたちと一緒に楽しそうに身体を動かしてくれていました。

体操の後はいよいよ公園へ出発！仲良しの友だちと一緒に手を繋いで歩く子や、大好きな保護者の方と隣で話をしながら歩く子の姿があり、子どもたちみんなとても嬉しそうなお表情でした。

そして待ちに待った公園での自由時間。すべり台やブランコ、ジャングルジムなどの遊具で遊んだり、園から持参したバットやボール、バトミントンをを使って身体を動かしたりしました。遊んでいると、チョウチョを発見した子どもたち。虫捕り網を持って追いかけてきましたが、なかなか捕まらない様子…を見た保護者も一緒に夢中で追いかける場面もありました。

帰るころには、虫がこの中にチョウチョだけでなくダンゴムシやバッタもいて、嬉しそうにみんなに見せる姿がありました。

園に帰り、楽しみにしていた弁当の時間では、質問ボックスを用意し、保護者の悩みや、子どもたちの名前の由来など普段なかなか話ができないようなこともみんなと一緒に共有しました。

家族同士だけでなく、保護者同士の交流も深まっており、ゆっくりとした時間を過ごしました。また来年の交流会も楽しみにしたいと思います。



「水あそびたのしいねー」

れもん組（2歳児） 原田 沙希

6月初旬より水遊びが始まりました。タライの水をペットボトルやジョウロに自分で汲んでは移し替えをしたり、トイに水を流して水が流れていく様子を見つめたり、じょうろを使って水が零れないように流し入れたりと、様々な玩具も使いながら思い思いに水に触れています。中には、バケツの水を頭から被ったり、友だちと水の掛け合いっこをしたりして大胆に遊んでいる子どももいました。

水にも慣れてくると、氷や泡、色水なども取り入れて少しずつ遊びに変化をもたせていきました。泡遊びでは、石鹸を削った粉に水を入れて泡だて器で混ぜていきました。すると、泡がどんどん膨らんでいく様子が驚きの声もきこえてきました。それを見ていた何人かの子どもが「ぼくも」「わたしも」とそれぞれが泡を作ったり楽しむ姿もありました。色水遊びでは「何ジュースがいいですか？」「リンゴジュースです」「はいどうぞ！」などご友だちや保育者さんより取りながら見立てて「つめたっ」と感触を味わっていました。ある日、紙パックに入った大きな氷を用意しておいたのですが、なかなか氷が出てきません。何とか氷を取り出そうと手で持つて軽く振ってみたり、水をかけてみたりして、どうやったら氷が出てくるのかなあというように試してみてもいいました。ようやく出てきた氷に嬉しそうなお顔を浮かべていました。

今後、遊びを通して生まれる発見や驚きを大切にしながら、子どもたちがのびのびと育っていきけるよう関わっていきたいです。



「園外保育の中での学びと成長」

かぜ組（5歳児） 尾藤 歩花

子どもたちが大好きな園外保育。「またバス乗れる！」「今度はどこに行けるのかなあ？」「園長先生、運転すこいね！」と毎回楽しみにしています。かぜ組になって初めての園外保育は「たけのこ掘り」。長靴をはいて竹林を歩き「たけのこ」を見つけたら、友だちと力を合わせて引張る姿もありました。少し前までは園庭の遊具や玩具など形が決まった物でしか遊びを見つけれない子どもが多かったのですが、自然の中で走り回ったり楽しそうに遊んだりする子どもたちの姿を見て、「もっと自然の中で遊ぶ機会を作りたい」「子どもたちで遊びを考え、遊べるようになってもらいたい」と思うようになりました。

そこから何度か「竹林」へ行き、竹の生長の違いや葉の中に隠れている虫を見つけて遊びました。中には虫が苦手な子どもいますが、「こっちは大丈夫」「手持ってあげるから、こっちおいで」と困っている友だちに手を差し伸べる姿も見られるようになってきました。7月の川遊びでは、虫や水に濡れることが苦手だった子どもが積極的に川へ入ったり、水深が深い場所へ入って遊ぶ姿もあり、成長を感じることができました。

園外保育には「自然の中での遊びや発見」「園外の人との関わり」など普段経験できないことがたくさんあることで、これからは色々な場所へ出かけていきたいなと思っています。また、出かけた先での子どもたちの様子を見ながら、たくさんの方が経験できるように計画も立てていきたいと思います。





認定こども園

長尾学舎

働く車に乗ったよ！

たいよう組（1歳児） 武山 理奈

5月20日、交通安全教室が行われました。さぬき警察署の方にお越しいただき、3〜5歳児は、信号機の見方や横断歩道のある道路とない道路の渡り方を分かりやすく教えていただきました。遊戯室には模擬信号や横断歩道も設置され、子どもたちは「右見て、左見て、右見て、車は大丈夫！」と声に出しながら、手を挙げて渡る練習をしました。

園庭には、パトロールカー、白バイ、移動交番車が登場し、働く車が大好きな子どもたちは目をキラキラ輝かせて大興奮。実際に見たり、乗ったり、触れたりしながら「これは何に使うの？」と警察の方にたくさん質問していました。

今後子どもたちが自ら交通安全について学べる取り組みを続けていこうと思います。



たまねぎの皮を剥いたよ！

にじ組（2歳児） 栄養士 中條 桃果

初めてたまねぎの皮むきに挑戦したにじ組。まず初めに、たくさん質問を投げかけてみました。「持ってみてどうかな？」「おもい！」「どんなにおいがするかな？」「あまいーりんごみたい！」「何色かな？」「ちやいろー！」としっかり答えてくれました。薄い皮に苦戦するかなと思いましたが、あっという間にたまねぎの皮を剥いてしまっていました。活動終わりに「にじ組さんの剥いてくれたたまねぎが給食のどこに入っているか探してみてね。」と言うと、「どこかな？」「お汁？」という声が聞こえてきました。

0歳児の頃から色々な食材に触れてきたにじ組。これからたくさんさんの食材に触ってもらいたいです。



ばくたちエサやり当番！

主幹保育教諭 藤崎 永津子

6月、長尾学舎にメダカがやってきました。園の正面玄関に置いた真新しい水槽の中で気持ち良さそうに泳ぐメダカは、あっという間に子ども達や職員さんの心を和ませてくれる存在になりました。

そんな中、登園すると水槽に顔を近づけ「おはようこ、メダカに挨拶をしてくれるつき組（4歳児）のH君。「エサをあげてみる？」と声を掛けると「うん」と、嬉しそう。パラパラとエサをあげてみると「食べた！」と笑顔をみせてくれました。

その後、つき組の子ども達が、毎日「メダカのエサやり当番にきました！」と、意気揚々と職員室に来てくれるようになりました。初めは恥ずかしそうにしていた子どもも、エサの摘み取りが上手になり「生き物を育てる」という役割に自信をもって取り組めるようになっていく表情を見ると、嬉しく思います。



わくわくのいちご狩り

ぎんが組（5歳児） 中村 友紀

7月2日（水）に、みらいいちご（三木町）に行き、いちごの収穫体験をしました。前日から絵本を読んでいちごについて学んだ子ども達は、わくわくしながら当日を迎えました。みらいいちごの生産者さんから教えていただいた「いちごのヘタを下に向けて優しく採る」ことを意識しながらたくさん収穫しました。容器一杯になったいちごを見て「パパやママと分けて食べるんだ」と嬉しそうに話す姿が見られました。いちごの収穫後には、みらいいちごの皆さんと一緒にいちごミルクを作りました。「いちごって甘いね。みんなで飲んだら美味しいね」と、満面の笑みが溢れていました。

いちごの葉っぱや花の形、いちごの実のなり方を学ぶことができ、良い機会となりました。今後も、野菜や植物に触れる機会をたくさん設けていきたいと思います。



事務局長 朝倉 勝子

令和6年度NHK歳末たすけあい寄付金を活用し、充電式クリーナーを購入させていただきました。

今後は施設内の環境美化やご利用者の自立促進に役立たせていただきます。ありがとうございました。

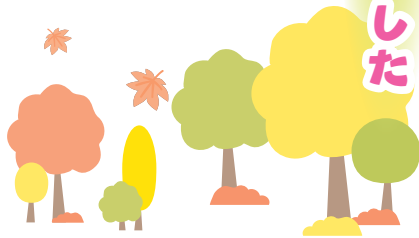


ご支援ありがとうございました

(有)井(株)京冬なみ

小 藤 木のら
木 い
島上 す花
工 い
産 務 み薬
ち

業恒店や子局ご
様様様様様様様



令和6年度の法人の経営状況 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

単位:千円

法人単位の資金収支の状況

科 目	金 額
(1)事業活動資金収支差額	98,138
①事業活動収入 介護報酬、支援費収入、利用者負担金収入、その他収入など	1,419,691
②事業活動支出 人件費支出、事業費支出、その他支出など	1,321,552
(2)施設整備等資金収支差額	-28,624
①施設整備等収入 施設整備等補助金収入、設備資金借入金収入	3,745
②施設整備等支出 設備資金借入金元金償還金支出、固定資産取得支出	32,369
(3)その他の活動収支金収支差額	-10,270
①その他の活動収支 積立資産取崩収入、事業区分間長期借入等	7,233
②その他の活動支出 積立資金積立支出、事業区分間長期貸付等	17,503
当期末資金収支差額	59,244
当期末支払資金残高	508,498

貸貸対照表(令和7年3月31日)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	552,345	流動負債	101,749
現金預金	356,639	事業未払金	32,942
未収補助金	5,482	設備資金借入金 (1年以内返済予定)	20,000
事業未収金	188,643	未払費用	4,181
原材料	166	職員預り金	6,393
立替金	1,162	仮受金	31
仮払金	250	賞与引当金	38,200
固定資産	2,548,454	固定負債	373,301
基本財産	1,770,120	設備資金借入金	260,000
土地	401,182	退職給与引当金	113,301
建物	1,368,937	負債の部合計	475,050
その他の固定資産	778,333		
土地	59,150		
構築物	111,407		
機械及び装置	18,001		
車輛運搬具	1,337		
器具及び備品	44,006		
ソフトウェア	4,849		
投資有価証券	84,836		
退職給付金引当資産	42,601		
施設整備特別積立資産	10,000		
人件費積立資産	10,000		
修繕費積立資産	20,000		
備品等購入積立資産	20,000		
減価償却積立資産	281,443		
退職積立資産	70,700		
資金の部合計	3,100,799		

法人単位の事業活動の状況

科 目	金 額
(1)サービス活動増減差額	16,697
①サービス活動収益	1,403,086
②サービス活動費用	1,386,388
(2)サービス活動外増減差額	75,216
①サービス活動収益	90,410
②サービス活動費用	15,193
(3)特別増減差額	0
①特別収益	3,745
②特別費用	3,745
当期活動増減差額	91,913
前期繰越活動増減差額	1,349,731
当期末繰越活動増減差額	1,441,644
その他の積立金取崩額	0
その他の積立金積立額	76,218
次期繰越活動増減差額	1,365,428

編集後記

暑すぎた夏が過ぎようとしています。これから先、地球はどうなっていくのでしょうか。小さなことからでもいい、一人ひとりができる自然を守る活動を意識していきたいです。(寺島)

